子会社株式・関連会社株式の期末評価

【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

子会社株式・関連会社株式の期末評価の内容を理解しよう！

子会社株式は支配目的で、関連会社株式は影響力の行使を目的として保有するため、売却を想定しておらず、時価による変動を把握する必要がありません。

そこで、期末に子会社株式・関連会社株式を保有している場合、原則として「**取得原価**」で評価し、貸借対照表に**取得原価**で計上します（決算において時価評価しません）。

例題　**決算日において、子会社株式（取得原価50,000円、時価55,000円）と関連会社株式（取得原価30,000円、時価27,000円）を保有している。**

①　決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表（一部）

子　会　社　株　式	50,000	
関　連　会　社　株　式	30,000	

②　決算整理仕訳

仕訳はありません。

③　決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表（一部）

子　会　社　株　式	50,000	
関　連　会　社　株　式	30,000	

その他有価証券の期末評価

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　その他有価証券の期末評価の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「その他有価証券」勘定（資産）

「その他有価証券評価差額金」勘定（純資産）

（1）決算時の処理

　その他有価証券は、業務提携目的や株式の持ち合い目的等、様々な目的で保有する有価証券が分類されますが、満期保有目的債券や子会社株式・関連会社株式と異なり、長期的には売却することが想定される有価証券ということができます。そこで、決算時に帳簿価額を**時価**に修正します。この処理は**決算整理**として行います。

　ただし、売買目的有価証券と異なり、短期的な売買を目的としていないので、短期的な時価の変動を損益に計上することが必要と考えられないため、帳簿価額と時価の差額（評価差額）は、損益でなく、貸借対照表の「**純資産**」に計上します（これを**全部純資産直入法**（ぜんぶじゅんしさんちょくにゅうほう）といいます）。なお、部分純資産直入法（ぶぶんじゅんしさんちょくにゅうほう）という方法もありますが、2級では出題されません。

　帳簿価額と時価の差額を「**その他有価証券評価差額金**（そのたゆうかしょうけんひょうかさがくきん）」勘定（**純資産**）で処理し、貸借対照表上、純資産の部の「**評価・換算差額等**」に計上します。なお、その他有価証券評価差額金には税効果会計が適用されますが、その処理は後で学習します。

取得原価　＜　時価（**高く評価**）　→　その他有価証券評価差額金（純資産）
取得原価　＞　時価（**低く評価**）　→　その他有価証券評価差額金（純資産）

（2）翌期首の処理

　その他有価証券の評価差額の処理は、**洗替方式**のみです。

　洗替方式とは、当期末に時価評価したとしても、翌期首に帳簿価額を取得原価に戻す処理を行う方法です。したがって、翌期首に決算整理の反対仕訳である**洗替処理**（振戻処理ともいいます）を行います。その結果、翌期の帳簿価額は**取得原価**に戻ります。

例題　**その他有価証券として取得したA社株式（取得原価1,600円）の期末における時価は1,700円であった。なお、税効果会計は適用しない。**

決算整理前残高試算表（一部）

その他有価証券	**1,600**		

① 決算整理

借方科目	金額	貸方科目	金額
その他有価証券	**100**	**その他有価証券評価差額金**	**100**

その他有価証券評価差額金：時価1,700－取得原価1,600＝100

② 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表（一部）

その他有価証券	1,700	その他有価証券評価差額金	100

③ 貸借対照表

貸　借　対　照　表（一部）

Ⅱ　固定資産		純資産の部	
3 投資その他の資産		Ⅱ　評価・換算差額等	
その他有価証券	1,700	その他有価証券評価差額金	100

④ 翌期首（洗替処理）

借方科目	金額	貸方科目	金額
その他有価証券評価差額金	**100**	**その他有価証券**	**100**

これにより、帳簿価額は取得原価1,600円となります。

例題　**その他有価証券として取得したB社株式（取得原価9,700円）の期末における時価は9,500円であった。なお、税効果会計は適用しない。**

決算整理前残高試算表（一部）

その他有価証券	**9,700**	

①　決算整理

借方科目	金額	貸方科目	金額
その他有価証券評価差額金	**200**	**その他有価証券**	**200**

その他有価証券評価差額金：取得原価9,700－時価9,500＝200

②　決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表（一部）

その他有価証券	9,500	
その他有価証券評価差額金	200	

③　貸借対照表

「その他有価証券評価差額金」勘定が借方残高となっていますが、貸借対照表には純資産の部（意味は純資産のマイナス）に表示されます。

貸　借　対　照　表（一部）

Ⅱ　固定資産		純資産の部	
3 投資その他の資産		Ⅱ　評価・換算差額等	
その他有価証券	9,500	その他有価証券評価差額金	△ 200

④　翌期首（洗替処理）

借方科目	金額	貸方科目	金額
その他有価証券	**200**	**その他有価証券評価差額金**	**200**

これにより、帳簿価額は取得原価9,700円となります。

有価証券②　問題

問題1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

① 前期に@500円で購入し、前期末決算で時価@700円に評価替え（切放法採用）した売買目的有価証券のうち900株を@800円で売却し、代金は現金で受け取った。

② 前期に@1,600円で購入し、前期末決算で時価@1,200円に評価替え（洗替法採用）した売買目的有価証券のうち40株を@1,100円で売却し、代金は現金で受け取った。

③ 売買目的有価証券は次のとおりである。決算に際して時価により評価替えを行う。

	帳簿価額	数　量	時　価
C社株式	@180円	200株	@150円
D社株式	@330円	100株	@360円
E社株式	@120円	150株	@200円

④ 2030年7月1日に48,200円で取得したF社社債（満期保有目的、額面50,000円、利率年2%、償還日までの残余期間は取得日から3年間）について、決算に際して償却原価法（定額法）で評価する。なお、決算日は2031年3月31日である。

⑤ 決算となり、期末におけるＧ社株式（10株保有）の時価は１株あたり19,000円であった。なお、Ｇ社株式はその他有価証券に分類しており、取得原価205,000円である。また、税効果会計は適用しない。

有価証券②　答案用紙

問題1

	借方科目	金　　額	貸方科目	金　　額
①				
②				
③				
④				
⑤				

有価証券②　解答解説

問題1　**解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	現金	720,000	売買目的有価証券 有価証券売却益	630,000 90,000
②	現金 有価証券売却損	44,000 20,000	売買目的有価証券	64,000
③	売買目的有価証券	9,000	有価証券評価益	9,000
④	満期保有目的債券	450	有価証券利息	450
⑤	その他有価証券評価差額金	15,000	その他有価証券	15,000

問題1　**解説**

①　切放法では前期末の時価が当期の帳簿価額となります。それに基づいて売却損益を算定して下さい。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
現　　　　金	**720,000**	**売買目的有価証券**	**630,000**
		有価証券売却益	**90,000**

現金：@800×900株＝720,000

売買目的有価証券：前期末時価@700×900株＝630,000

有価証券売却益：(@800－@700)×900株＝90,000

②　洗替法では期首に洗替処理を行い、取得原価が当期の帳簿価額となります。それに基づいて売却損益を算定して下さい。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
現　　　　金	**44,000**	**売買目的有価証券**	**64,000**
有価証券売却損	**20,000**		

現金：@1,100×40株＝44,000

売買目的有価証券：取得原価@1,600×40株＝64,000

有価証券売却損：(@1,600－@1,100)×40株＝20,000

③　売買目的有価証券は時価で評価替えを行った差額は「有価証券評価損益」勘定で処理します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
売買目的有価証券	**9,000**	**有価証券評価益**	**9,000**

売価証券評価益：時価(@150×200株＋@360×100株＋@200×150株)

－簿価(@180×200株＋@330×100株＋@120×150株)＝9,000

④　取得差額を取得日から償還日にわたって配分します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
満期保有目的債券	**450**	**有価証券利息**	**450**

満期保有目的債券：(額面50,000－取得原価48,200)÷36ヶ月×9ヶ月=450

⑤　その他有価証券は決算時に時価評価を行い、帳簿価額と時価の差額は「その他有価証券評価差額金」勘定で処理します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
その他有価証券評価差額金	**15,000**	**その他有価証券**	**15,000**

その他有価証券：帳簿価額205,000－時価(@19,000×10株)＝15,000